

# ふくしまっ子

# チャレンジサマースクール2015

# in 石川



## 報告書

平成27年 **8月8日(土)~14日(金)** 6泊7日

主 催 ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会  
協 力 特定非営利活動法人 poco連人(福島県)  
後 援 金沢市教育委員会  
宿泊場所 石川県立能登少年自然の家  
金沢市キゴ山ふれあいの里研修館



# 『ふくしまっ子チャレンジサマースクール 2015 in 石川』を終えて

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会

代表 岩井 繁 樹

♪いま～あなたは幸せですか？ ひとり占めにしていませんか～？

わかちあった幸せこそが～ いつまでものこってるもの～♪

これは広島島の21歳、シンガーソングライター十輝くんが作ってくれたふくしまっ子チャレンジスクールのテーマソングです。

彼は2012年の1回目からリーダーとして毎年参加してくれていて、この曲は今年のキャンプ中に子ども達と一緒に作ってくれたものです。今年はこの曲をみんなで大合唱する機会が何回もありました。私は軽快な曲調とともに、詩の内容がこのキャンプの真髄を表していて、とても気に入っています。

## 募集開始1週間で定員に達する

今年も昨年同様30名の定員で6月上旬に募集を始めたところ、なんと1週間もしないうちに定員に達することができました。昨年の参加者が友達を誘ってくれたことや、GWに開催した合宿に参加いただいたいわき市のご家族がご友人親子と一緒に参加申し込みいただいたことなどが要因でした。背景には原発事故から4年目を迎え、保養キャンプに対する福島県の保護者の皆さんの認識が浸透してきたこと、周囲の保養に対する理解が広がり、潜在的な需要が高まってきたことがあるように思います。

結果、子ども31名と保護者5名が福島県から参加してくださいました。子ども達のうち、リピーターは15名、初参加が16名でした。

## こころに残ったこと、うれしかったこと

今回のキャンプを通してうれしかったことは、リピーターの子どもの成長ぶりを肌で感じる事ができたことです。1回目、2回目に参加した子ども達が年を追うごとに逞しく、そして初参加の子ども達をリードする気配りができる子に育っている姿に感動を覚えました。

次に学生リーダーの成長です。今回は12名の学生リーダーが全日程参加してくれました。今年初めて参加する学生がほとんどで、正直始まる前はすいぶん心配しましたが、いざ蓋を開けてみると単なる杞憂にすぎませんでした。子ども達と一瞬にして打ち解け、心が通っていくうちに表情が生き生きしていき彼らを私は穏やかに見守るだけでした。

さらにうれしいことに前回、前々回までの学生リーダーのほとんどが社会人になってもキャンプに戻って来てくれたことです。遠くは広島から、山形から、福井から、社会人となった彼ら、彼女らが土日や盆休みを利用して参加してくれました。まるで年1回の同窓会です(笑)。彼らは口々に「チャレンジスクールのアットホームさが大好き」と言ってくれます。



そして毎回、支援・協力してくださる方がどんどん増えて、広がって、深くつながっていくことに限りない敬意と感謝と喜びを感じます。広島から豚1頭を寄付していただいたり、豪華な結婚式場でディナーを用意いただいたり、子ども達の帰りのお土産をたくさんの方々に呼びかけて袋詰めまでしていただくなど、数えたらきりがありません。昨年に引き続き子ども達の送迎、安全管理を手伝っていただいているpoco連人さん福島の保護者さんも大きな存在です。ほんとうに多くの方々に有形無形でふくしまっ子を支えていただいています。この事業は感動と感激と奇跡の連続なのです。

### 私達が目指す保養キャンプ

ふくしまっ子チャレンジスクールの最大の目的は、福島県やその周辺子ども達を石川に呼び、放射能の影響を気にすることなく自然の中で思いっきり遊び、食べ、寝ることで心身をリフレッシュし、免疫力を向上してもらうことです。

ただし、1週間程度の保養期間では子ども達の体内から放射性物質をすべて放出させることは不可能かもしれません。チェルノブイリ原発事故後、ベラルーシやウクライナでは24日以上保養キャンプを国家が実施しています。私達が現在のスタッフ力で実施できるキャンプ期間は1週間が限界です。

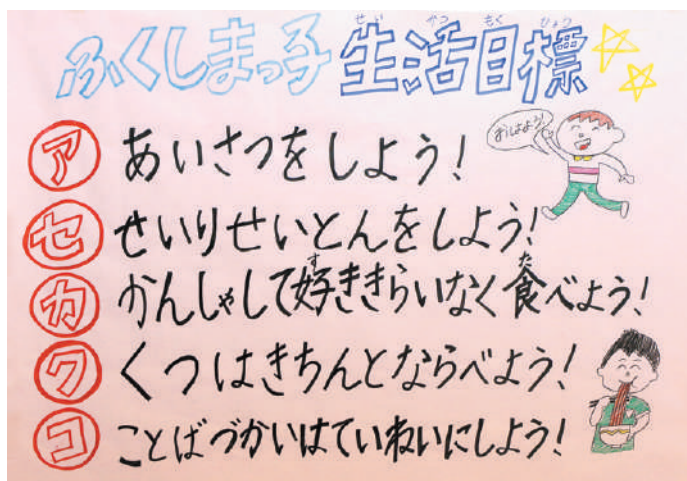
だからこそ私達が目指す保養キャンプは、エンターテイメントキャンプなのです。子ども達はもちろんのこと参加の保護者さんも、学生リーダーも、大人スタッフもここから楽しめるキャンプを目指しています。こころの底から楽しいと思うキャンプこそ子ども達の免疫力を最大に回復してくれるに違いないと信じるからです。そして隠し味?として楽しいプログラムに密かに忍ばせてあるのが『あ・せ・か・く・こ』と『Y・W・K・T』です。

子どもたちをやわらかく包み込む雰囲気重視しながら、ふくしまっ子チャレンジスクールはこれからも、より良いキャンプづくりを目指してチャレンジを続けます。

みなさん!今年のキャンプがふくしまっ子にとってここから笑顔でいられたキャンプだったか、ページをめくって検証してみてください。

さあ、あなたと一緒にステキな宝箱を探す小旅行のはじまりです♪

最後になりましたが、『ふくしまっ子チャレンジサマースクール2015 in 石川』に対しまして多くの方々から、こころ暖まるご支援ご協力をたまわりましたことを改めて深く、深く感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。



# 事業報告書

1. 事業名 ふくしまっ子チャレンジサマースクール2015 in 石川
2. 実施主体 ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会
3. 後援 金沢市教育委員会
4. 実施期間 平成27年8月8日(土)～平成26年8月14日(金) 6泊7日
5. 宿泊場所 石川県立能登少年自然の家 石川県鳳珠郡能登町字九里川尻16字20番地 (8日～12日)  
金沢市キゴ山ふれあいの里研修館 石川県金沢市小豆沢町34番地 (12日～14日)
6. 実施場所 石川県立能登少年自然の家 (カヌー・キャンプinキャンプ・キャンプファイヤー)  
五色ヶ浜海水浴場 (海水浴) 赤崎海岸 (魚つり)  
いしかわ動物園 (見学)  
ディスティノ (おしゃれな夕食)  
金沢市キゴ山ふれあいの里研修館 (水鉄砲づくり・コンサート)  
金沢市東山界隈 (茶屋街)
7. 参加者 福島県の小学1年生～中学2年生 / 31名  
(郡山市10名 福島市8名 いわき市6名 本宮市4名 西白河郡2名 白河市1名)  
保護者 / 5名 石川県の小学生2名



## 8. 事業内容

《主なスケジュール》

	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時
8/8(土)				郡山市 9:00 出発 → 昼食(新潟のSA) → 随時休憩 → 能登到着予定 18:00									7食	開校式 オリエンテーション 自己紹介・班活動	夜のつどい	就寝時間	
8/9(日)	起床	ラジコ	朝食	海水浴 五色ヶ浜海水浴場	昼食	海水浴 五色ヶ浜海水浴場	バス移動	入浴	夕食	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
8/10(月)	洗濯	掃除	朝食	カヌー体験	昼食	休憩	キャンプイン キャンプ オリエンテーション	キャンプインキャンプ(テント生活) テント設営・荷物移動・野外炊飯・班活動									
8/11(火)	洗面	体操	朝食	キャンプインキャンプ(テント生活) 朝食	かたづけ 班活動	昼食	休憩	魚つり	入浴	夕食	キャンプ ファイヤー 出し物練習	キャンプ ファイヤー	夜のつどい	就寝時間			
8/12(水)			朝食	バスにて金沢へ移動	いしかわ動物園見学 田代川・三ノ川・横山・金沢研修館 診察室・見物デッキ・水鉄砲作り			昼食	バス移動	おしゃべり夕食 Destino マスター	自由時間	入浴	夜のつどい	就寝時間			
8/13(木)			朝食	金沢東茶屋街散歩	昼食	水鉄砲 づくり	班活動	入浴	自由時間	夕食	ファイナル コンサート						
8/14(金)			朝食	開校式	金沢 9:00 出発 → 昼食(新潟のSA) → 随時休憩 → 郡山到着予定 16:00												

8/8  
(土)  
1日目



1日目、石川のスタッフは福島のみんを迎える準備のため早めに集合！念入りな最終打ち合わせを行いました。夕方、いよいよ子ども達を乗せたバスが能登少年自然の家に到着。学生リーダーのトートはバスから降りてくる子ども達にいち早く挨拶をし歓迎しました。開校の後はみんなでアイスブレイクをしました。子ども達やリーダー、大人スタッフ、班全員の名前を覚えるために奮闘していました。初日はバスでの移動が長かったので、早めにおやすみなさい。

しょうたろう

8/9  
(日)  
2目

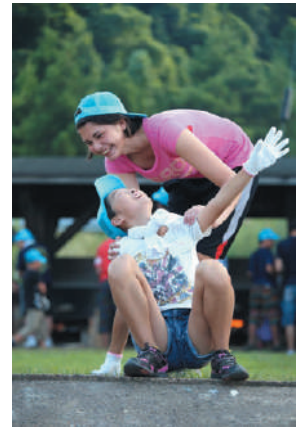


2日目は、子ども達から大人気の『海水浴』でスタート！前日の夜は眠れないほど海に入ることを心から楽しみにしていました。海が見ると子ども達の目が輝いていたことが印象的です。能登の海は「きれい！」と心の底から言えるほど透き通っていて、そんな海で遊ぶ子ども達の笑顔には、開放感や満足感であふれていました。

海水浴後は『スイカ割り』。みんなで大きな声で誘導して盛り上がり、5人目で大きなスイカは2つにきれいに割れました。甘くて美味しかったです！夜にはクノキジョンさんによる『英会話教室』があり、みんなで仲良く "jesus loves me" を歌ったり、伝言ゲームをしたりと、大盛り上がりで楽しい夜を過ごしました。

まりこ

8/10  
(月)  
3日目



3日目は『カヌー』『キャンプinキャンプ』  
といったふくしまっ子で初めてのイベント  
が詰まった1日。午前中の『カヌー』は初め  
ての子も多く、みんな方向転換やこぐの  
にも一苦労。往復の時の休憩所では魚が見  
えて子ども達は大興奮!午後の『キャンプ  
inキャンプ』では、班ごとに野外炊飯でカ  
レー作り。みんなで協力して作ったカレー  
はそれぞれの班ごとの特徴がでていて、ど  
の班も上手に作れていた!テントの中では  
班ごとに次の日のキャンプファイヤーの出  
し物を決めた!

たかひろ



8/11  
(火)  
4日目



キャンプ4日目!前日の『キャンプinキャンプ』でテントから起床した子ども達。各々好きな時間に起き、ご飯を食べ、公園に行ったり、近くの海辺で遊んだり。ゆっくりとした自由な朝を過ごしたよ。それから空いた時間で夜にやるキャンプファイヤーの練習をしました。頑張って練習していたね。午後は待ちに待った魚釣り!餌を竿につけるのに一苦労…。大変だったけどお魚は大量に釣れて楽しかったです。夕食後は『キャンプファイヤー!!』火の神やパンツマン、個性豊かなキャラクター達が盛り上げてくれて、子ども達の演目も大盛り上がり。最後はみんなでギターの音色とともに歌とダンスをしたね。いっぱい歌っていっぱい体を動かして楽しい一日でした。

すんだ



8/12  
(水)  
5日目



5日目は子ども達が楽しみにしていた「動物園」「豪華な結婚式場 DESTINOでのディナー!」朝食を食べ、出発準備にとりかかりバスに乗って出発! A班B班で分かれ、B班から動物園へGO! 到着してからの子ども達はすでにハイテンション! 動物園を少し回ってからお昼を食べました。食後はさっそく動物園周回の続きをしました! 動物園を回り終え、子ども達もさすがに疲れてそう…。病院での甲状腺検査はなんなく終わりました。そしてとうとう本日の最大イベント...DESTINOでの豪華な夕食!! 料理はバイキングになっており、子ども達はテーブルへと案内された後、真っ先に料理を取りに行きました。おしゃれな夕食の後は十輝君のライブもあり、皆にとって心に残る幸せな一日でした。

けいくん



8/13  
(木)  
6日目



6日目。キコ山での初めての朝。キッチンスタッフのみなさんが朝早くから作ってくれた美味しい朝ご飯を食べて金沢散策に出発！天気が心配だったけど、散策を始めると晴れました。家族にお土産を買ったり、美味しいアイスを食べました。午後からは水鉄砲づくり。自分で竹から作った水鉄砲で思いっきり遊んでびちゃびちゃ～。その日の夜は十輝&クノキバンドのLIVEで、みんな盛り上がり、最後は感動で号泣した子もいて、思い出に残る最高の夜になりました。  
もも

8/14  
(金)  
7日目



あっという間の最終日。福島に帰る準備でいつもより早めの起床。たくさんの荷物と思い出を詰め込んだカバンはパンパン！眠い目をこすりながら、きちんと自分で準備が出来ました！みんなで食べる最後のご飯はいつもと変わらず、楽しく美味しく食べました。おかわりする子も！閉会式では、代表のいわじや学生・大人スタッフから子ども達へ一言と思い出の一つにと色紙のプレゼント！なんと子ども達から学生スタッフへのプレゼントも！その後、全員で輪になり、ふくしまっ子には欠かせない「夢が夢があるから〜」を、汗をかき喉ががれるくらい唄い踊り、全員が一つに。とっても楽しかったです☆ 式後はいよいよ石川県を出発。いっぱい遊んで笑ったスタッフとの別れ。ふくしまっ子では、見送る時は「いってらっしゃい」、子ども達は「いってきます」と言います。また再会出来ることを願って。帰りのバスでは、思い出話をしたり、疲れて夢の中の子もいたり。昼食はバスの中で。「ごはんのうた」もしっかり歌って！それから思い出の時間を過ごし、無事、郡山駅に到着。雨の中、お土産や検査の結果、そして思い出を胸にそれぞれの帰路へ。これからの子ども達の成長が楽しみ！また会おう！いってらっしゃい！！

ゆっきー



# 保護者の感想

幼稚園の頃から延長などしていたので、長い休みを取、(1)事がなく、毎年、夏休みは思い出に残る所へ連れて行く、(2)事がありませんでした。一年生の時「夏休み、何? ボクは休みじゃ無いの?」と言われた時に、行った水産館が楽しかったと、息子に申し訳なからたので、今回参加してふたたび出来た体験をして、いつもより狭く、キャンプの事を話して、私も楽しくうれしかったので、毎朝、そういをして体操して、初めてやったカーンが思い出に残るため、宿題に書きまして、いつもCDを聞いて喜んでいます。貴重な体験ありがとうございました。

この度はスタッフの皆様にお世話になり、本当に感謝しております。震災直後は幼稚園児だった息子も小学校中学年になり、そろそろ野外活動を色々体験させたいと思っておりましたが、福島県内の森林・水遊びはいまだ安心して行かせることができません。(家近辺の草むらもまだ1.0μシーベルト以上の箇所が多々あります。)

このような企画を御世話いただき、心から感謝申し上げます。その上、家では何度言ってもできなかった事(靴をそろえる、野菜を食べる)ができるようになって帰ってきました。

海水浴、カーン(カヌー)は震災前に何度か行きましたが(本人は幼稚園年少だったので覚えていません)震災後は初めての体験となり生まれて初めてに等しい体験となりました。本当にありがとうございました。

昨年の参加から一年を通し、チャレンジスクールでの思い出話と今年の参加意欲満々で過ぎて来ました。募集案内やスケジュールの詳細は、いつ届くのかと、ウキウキワクワクしながら誰よりも楽しみに張り切って待っていました。今年も参加する事ができて、無事に帰宅し、「すごく楽しかった!!」と言った息子の顔は、本当に満足し、やりまった感があり、嬉しかったぞ。人一倍、人見知りや引込み思案の息子ですが、こんなにも思いっきり楽しかったと表現したり、石川での話を聞くと、関わって下さったスタッフの方々が幅広い年代で、どこか出会えない素敵な方々との繋がりなんだと改めて思いました。何より、一緒に過ごしていたたいい大人の方々が楽しんでる様子満載だったので、大人がこんなに楽しんでいるなら子供も楽しいに違いないと感じました。少年の心を持ち続けているユニークなおじさま方、(いえいえ、立派な大人の方々)のパワーと共に過ごせた息子の表情は、自然体でとても生き生きして幸せ感が溢れていました。

岩井さん、澤本さんが立ち上げたこのチャレンジスクールは、他にはないアフターフォロー校群で福島の子供達に寄り添った最高のサマースクールだと思います。協賛金や募金活動の為に重く下った方々、大切なお金と食材、お土産を提供して下さいました方々、貴重な時間を割いて協力して下さいました方々、盛り上げ、見守って下さったリーダーの方々、沢山の方々のおかげで、こんなにも充実した日々を石川で過ごせた事に大変感謝致しております。

純粋で全力で楽しもうとする石川の方々の気持ちがとても有難く、息子にとって最大で最高の夏の思い出となりました。

——— ありがとうございます ———

帰って来た時の腫が テレビドラマに負けぬくらいキラキラでした。  
心配していた車酔いもなく行ってきたこと、1週間 親元を離れ  
過ごしたこと、新しい友達かできたこと、いろいろなことが自信にたっ  
ているように思いました。

友達の前でいろいろやり取りするのあとに帰るときに「すっぴいねー」  
「いいねえ」と何度も教えてくれました。

行事のすべてが楽しかったよ？ Q3-3-2は 選別に苦勞しました。  
ただ、魚釣りは楽しみにしていたのに「えさか 長時間悪くて...一匹も釣れな  
くやしかったみたい」です。うんは意味を失う時、考え、行動できたのでは...

今年も戦後70年といわれ、新潟に取上げられています。  
震災後70年という年に いろいろな事がある。その時に多くの支援があり  
福島は再生、復興し、その土地の人々は感謝と思いやりを他者に  
前向きに暮らしているという歴史に力を感じることを願います。

縁あって、このような会に参加できたこと心からよかったです。思っています。

今後、「ありがとう」の言葉を忘れず、一日一日大切に生きて  
いけたらと思います。

子供たちのため、長い時間をかけ、協議協力準備をし実行  
していたとき 本当にありがとうと感謝していました。

この多感な時期に 体験、経験できたことは、本当に  
素晴らしい日々だったと思います。

実際にふるさとを思う。たくさんのお土産もありがとうございました。

おかえりでむかえていただき、始まるふくしまっ子。昨年参加させていただき、今年  
の夏まで子ども達の中には早く夏休み来ないかな～がずっとあるとおもいます。どれ  
ほどのたくさんの方が福島の子供達に心を寄せて下さっているのだろうと考える  
とただただありがとうございますの言葉しかありません。～中略～

帰って来た当日、当人は日焼けして、あれ？なんか背伸びた？顔つき大人になった？  
と話す間もなく、「見て、リーダーにももらった色紙」[海、めっちゃ楽しかった。]「レス  
トランおいしかったよー」[これお母さんのお土産ね。]「金箔ソフト、何味食べたと  
思う？」[おかしたくさんもらっておいしかったよ]「また、行ってえ〜」[来年は10泊  
でもいいよ]「今度金沢行こうよ」[能登の海も行こうよ]と書ききれないほど、まだ  
まだまだたくさん続いていました。今でもロッカーに色紙を置いて、ながめては、鼻うたま  
じりにふくしまっ子のエネルギーをチャージしているようです。

毎年(今年で3回目)、お世話になっています。

今年は初めて小3の下の子が参加ということで心配な気持ち半分、石川に行ったら間違いなく存分に楽しんでくたうと期待の気持ちで送り出しました。フェイスブックで見る息子の顔、初めのうちは表情が堅く「緊張してるなあ」と。でも、日に日に活動している姿を見ると打ちとけてきている様子がありました。いつも、たくさんの方々の支援、協力で子供達はたくさんすばらしい経験をさせて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

娘は、リーダーになってこのキャンプにまた参加したいようです。そして、息子も「また絶対に行く!!」と話しています。できるのなら、これからも続けて頂けるとありがたいと思っています。

石川県のみなさん、たくさんのお愛をありがとうございました。しばらく、「ランララ〜」と歌っていました。楽しい思い出を思い出しながら歌っているみたいです。

今年で4回目の参加になります。わが家では、毎年の夏の楽しみになっています。キャンプに行く為に、宿題もしっかりと計画的に進めてくれるので、とても助かっています。

キャンプから帰ってくるたび、とてもたくましい姿になっている様子が感じます。

たくさんの友達、たくさんの思い出、たくさんの感謝、...

色々な思いを持って帰ってきます。そして必ず「来年も参加する!!」と言います。

親だけでは与えられなかった時間、経験、想いを与えていただき、毎年、心から感謝しています。そして、来年もお世話になります。

今年も最高の夏をありがとうございました。

長嶺

今年初めて参加させていただきました。

お姉ちゃんはしっかり者でまじめで会ったばかりの人には弱音を吐けない性格で、弟は甘えん坊で元気でながまま...と、それぞれに知らない人達の中で本当に大丈夫かな...沢山ご迷惑をかけるのでは...など心配でたまりませんでした。出発する前の日、お姉ちゃんと1つ約束をしました。

「FBに写真がアップされた時、ママは必ず見ているから、楽しかったら笑顔でピースしてネ! 楽しくなかったら絶対無理して笑わないでネ!」と...夕方到着した頃にFBをドキドキしながら見てみると...すぐに笑顔でピースを嬉しくて思わず涙しました...それから毎日笑顔でピースを福島では出来なくなりました事...何も気にせず生活出来る喜びをありがとうございました。

※ FBの更新が早くてつねに安心していられます!!

※ お姉ちゃんといつも一緒にいてくれたお友達...ありがとうございました!!

※ ながままで甘えん坊の弟をたっこしてくれていたボランティアのお姉さん達、きちんと注意してしかってくれたお兄さん達、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

※ スタッフの皆様、ボランティアの皆様、石川県の皆様にご感謝の気持ちでいっぱいです!! 本当に本当にありがとうございました!!



今年で3回目の参加をさせていただきました。小4になった息子は昨年自宅への帰りの車の中で「お別れがさびしいよ～」と大泣きしたのですが、今年も郡山で解散後に食事をしたところお別れがさびしいと大泣き。「また来年行けるよ」となだめたのですが、なかなか泣き止まず。もう泣きただけ泣かせようと様子を見ていたら、1時間くらい後に気が済んだらしく、今度は「来年まで長いなあ、待てないなあ」とにっこりしました。少し消極的でもじもじするところのある子が、このキャンプで1週間、リーダー・参加のお子さん達・大人スタッフの方々と触れ合っていく中で、コミュニケーションの取り方やその楽しさをすごく感じていてその楽しさの分、別れのさびしさをあじわったのだらうと思います。

宝物みたいな1週間で過ごさせていただきました。

今回、子供のみの所へ私と息子まで参加させて頂きありがとうございました。上の子達の様子を覗き見ることができてとてもよかったです。

姉2人は今までに保養キャンプの何度も参加していますが、週明けに行けば、あっという間と帰る... そんな感じでした。ふくしまっ子では、これほどまで別れを惜しむ姿を初めて見ました。とっても楽しかったのだと思います。

学生リーダーさん達のやる気と元気もいっぱい見ていて安心できました。

自然活動も毎日、日程のつめすぎ??とは少し思っています。でも子供達の体力もついてきていて、毎日、元気に活動する姿を見る事ができてよかったです。

私は保養は福島から離れたらそれで"けど"充分だと思っています。ふくしまっ子では安全にできることになった事。

それ以上の体験をする事ができました。子供達にとって貴重な経験になったはずですよ。

ふくしまっ子チャレンジスクールへ参加する事ができて、たくさんの人達と出会う。再会もする事ができました。

体の保養だけでなくたくさん笑いでの心の保養にもなり、母子共に元気なりました!!

スタッフのみなさん、リーダーのみなさん、顔を見る事のできなかつた、たくさん支援をしてくださったみなさん。ありがとうございました。感謝の気持ちをお子さん達にも伝えたいと思います。感謝しています。



7月26日(日) 事前説明会 郡山市男女共同参画センターにて

スタッフの皆様、たいへんお世話になりました。出発前は、移動時間の長さや、初めての子どもだけの活動に参加することに不安がありました。しかし、到着すると温かく迎えていただき、回りの子どもたちが生き生きとした表情で、抱擁したり声かけ合っている姿を見、不安が楽しみに変わりました。夜のスタッフミーティングにも声をかけてもらい、一日の流れ、役割、チームワーク、習熟率に素晴らしいと思い、安心しました。途中から知った「ふくしまっ子」の存在、とてもよいことだと思います。夜遅くにメールにコメントを書いているリーダーの姿を見、感謝の気持ちでいっぱいでした。お別れの中、ありがとうございました。その子が一日何を見て、何を感じたのか、任せることができ、班活動の距離間も縮んでいったのでしょう。大切なお記録の形として残せるものとなりました。大切にします!

親から見て子どもの様子ですが、緊張した様子から活動するごとに笑顔がみられ、とても楽しんでいました。3日目にして「乗りたい」と言っていました。子どもが笑っている顔を見ていると、涙がでそうなくらいうれしく思いました。福島では、色々な体験を通し、班活動も終業したことで、自立・たくまさが身につきました。ありがとうございました。～

ご意見... 活動が毎々おもしろいから使っている分、お腹もすくのだから。(活動中、お腹が空いた) 「腹減った～」の声がよく聞かれました。スタッフ東子で子供、おとしたお尻、おんべ等も身支度もいいやつと感じました。おんべの音が聞かれないと寝ていなくて笑いました!



## こどもの感想

とっても楽しかったです  
 いい思い出になりました  
 来年はリーダーで参加したいです  
 ありがとうございます。

初めて参加して、毎日が楽しかったです。  
 一番は決められないほど、全部楽しかったです。  
 リーダーさんがやさしくしてくれたり、たくさん  
 遊んでくれてうれしかったです。  
 たくさんの友達もできてお別れするのが  
 さみしかったです。いっしょに歌ったりおどっ  
 たりして思い出がたくさんできました。  
 来年も参加させてください。  
 みなさんありがとうございました。

ほれてはじめてテントに  
 ねました。しせんの中でしてきき  
 もちがよかったです。  
 ゆうりしたかひろにありたり  
 です

リウカ

ぼくは「ふくしま子供キャンプサマースクール」  
 に行き、今年で4回目だったからいろいろと  
 ちがっていたんだけど今年はずっと楽しかったこと  
 があったので、楽しく島で遊べました。  
 ファイナルコンサートでゲームスが来てくれたので  
 本当に楽しかったです。

今年初めてのキャンプでした。  
 友達もいっぱいできて6泊7日は  
 短かえ、楽しくて、もっと遊び  
 たいです。  
 また来年も行きたいなりました。  
 カヌーでもっと長きよりをした  
 かったです。  
 トキのCDは、今度110円に  
 してください。  
 1王子のリーダーのみなさん  
 ありがとうございます。



カノモ川で野球をしました。

楽しかったらぜひ来年も参加したいです。  
 リーダーのみなさん楽しい時間をありがた  
 ございました。







キャンプのキャンプが一番楽しかったです。  
 テントを組み立てて、夕ごはんを作るのが楽し  
 かった。テントの中であまりおねがひがた。あ  
 りかとうで、もうちょっと長くおねがひがた。サマ  
 ースクールをやりたいです。(明日はいいにしてほしいです)  
 すごく楽しかったです。ありが  
 とうございます!!  
 来年も必ず行きたいので、  
 よろしくおねがひします。

今度は泊まる期間を6泊7日から  
 9泊10日にしてほしい。▽  
 おねがひをアップ↑↑↑↑↑↑↑↑↑↑↑↑  
 してほしい。▽

友達ができて楽しかったです。  
 リーダーや大人スタッフさんか  
 せつがたかったです。



# サマースクール

のみなさん!!!!

石川サマースクールからもう1週間もたつたね...。昨日はもうです。  
 楽しかった思い出を胸に、毎日毎日吹いてくれる風に  
 なるぞすけい(笑) サマースクールを  
 振り返ってみて、最初の2日3日は緊張してたけど、皆と  
 4日くらいから仲良くなったなあ〜、スタッフさん  
 優しく、元気でステキでした。\*ごはんもおいしかったです!! (何もかも) 福島の思い出は、おもしろい思い出  
 でした〜♡  
 今年の夏は、  
**最高の思い出が生まれました!!!**  
 協力する大切さ、仲間いる大切さを  
 感じるこが生まれました。大切な思い出を  
 たまーに思い出して、思い出すと元気がでます。  
**楽しい時間をありがとう**

結衣 晴風 心

いろんな事ができてとても楽しかったです。  
 来年も、また参加したいです。  
 たくさんのおみやげとおかし、うれしかったです。

福島ではできない体験がたくさんできたので、  
 とても楽しかったです。





ぼくはクーがいちばんたのしかった。  
すのまたらいねんも  
またいそ。



スタッフのみなさんへ  
今年も楽しいキャンプありがとうございました。魚つりでは、魚がひきもつれませんでした。でも、ぼくは魚つりは大好きです。初めてのテントではあつきたけど、星空がとてもきれいでした。おみやげにもらった石川県の野菜をほくは、カレーを作りました。家族にきよんこんでもらいました。家族にきよんのごはんもとてもおいしかったです。キャンプ仲とくにDESTINが最高でした。今年もたくさん友達たちができまして、来年も絶対参加します。みなさん档にありがとうございました。

カレーとか氷ごぼろ、くるとかいろいろたのしかった。  
またちやおかにほくができたキャンプでカレーをつくったのが  
おいしかったのしかったです。  
また来年きたいです。

わたしは、キャンプファイヤーとテント生活が  
楽しかったです。いろいろなゲームが楽しい  
テント生活ができてうれしかったです。  
また参加したいです。ありがとうございました。  
鈴木 里緒菜

今回のぼくは、また、いそジマースクールに参加ができて、  
本当に良かったです。何が一番深いのかと言う事は決められ  
ません!! みんなで一緒に活動した事がとても楽しかった  
からです。ぜひまた参加したいです!  
鈴木 杏乃華

一週間、楽しかった。  
・タカヒロジュセフとまさきに来年も会いたい。  
・「来年も絶対行く!」

わたしははじめてのさんかです。  
いくまえは、ドキドキしていましたが、  
でも、はじめてのキャンプファイヤーや  
キャンプや竹でっぽうや魚つり、  
全部が楽しかったです。ありがとうございました。  
また、行きたいです。  
星空がきれいでした。また、見たいです。  
ウララ



# 学 生 リーダー の 感 想

初めて参加させて頂いた石黒茉莉子です。密度濃い7日間をありがとうございました。このキャンプを終えて思ったのは、自分の足りないものを見つけることができ、新たな自分探しのスタートをきれたので「しあわせ」と思い、女喜ばせていいと思います。まわりの素敵なスタッフ、リーダーの姿を真近で見て、私もこんな風に子どもたちと暮らしたい、子どもたちの前で話せるようになりたいな、と「んだん」欲がわきました。

そして、何といても、ふくしまっ子のキャンプを通じてこんなに多くの気づきがあったことに一番感謝しています。

ありがとうございました。

石黒茉莉子



今年で2回目にして、初めて全日程通して参加することが出来ました。前回と比べると、立場が変わり責任感が増したり、保養活動を「行う」感覚を感じたり(吉田先生のお話などから)、私の中ではより思い入れの強いキャンプとなりました。今年はお天気にも恵まれ、雨がザーザー降りになった日はなんと0!でしたが、これもみなさんの熱い想いのおかげ?って思ったり...。なによりも、子ども達の笑顔が太陽よりもキラキラしていた事か忘れられません。それくらいこの活動は、意気込みのあるものなんだなと思います。来年もぜひ「最後の学生リーダー」として参加させて頂きたいです。ふくしまっ子のステキな経験をずっと大切にしていきたいです。今年も本当にありがとうございました。

石川県立大学 3年

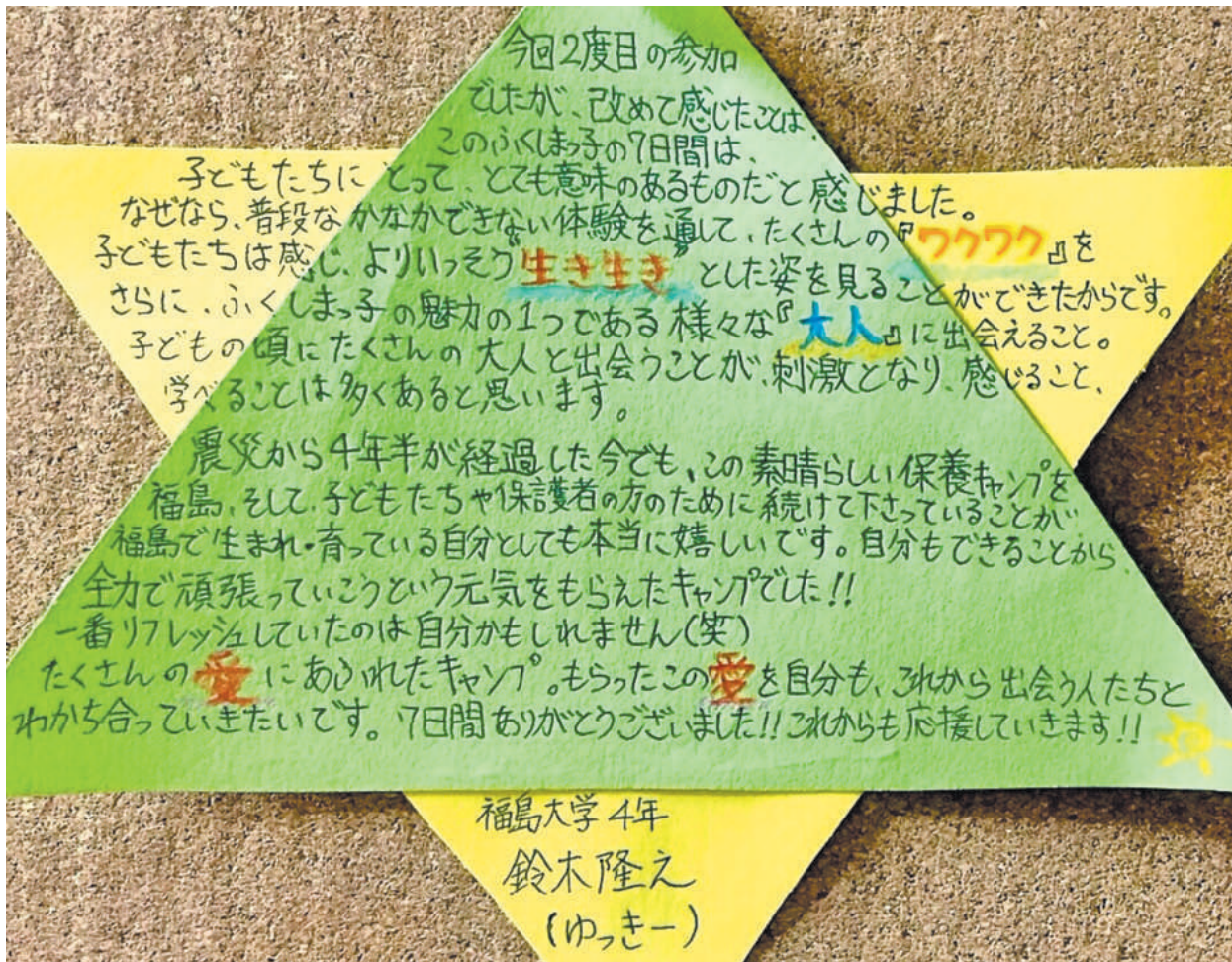
糸田川 詩萌里 (しまり)



8月8日～8月14日まで泊7日というとても短いキャンプ。私は今回が初めての参加でした。子どもたちと仲良くできるかな?ちゃんとリーダーとして動けるかな?など不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、たくさんのおしゃべりを通してみんなと仲良くなってそんな気持ちはなくなっていました。最終日みんなと別れるのはさみしかったけど、なぜかまた1年後みんなに会えるのが楽しみだとも思えました。ふくしまっ子チャレンジサマースクールでたくさんの人と出会い、初めての経験もして、自分を成長させることができました。また来年も石川でみんなのこと待ってます☺ 荒井 桃子



# 学 生 リ ー ダ ー の 感 想



初めてボランティア活動に参加し、とても貴重な体験と楽しい思い出ができました。特に記憶に残っているのはキャンプinキャンプで、ブルーシートを広げ班の子ども達と怖い話をしたことです。とは言うものの、怖い話から逸れてみんな爆笑してしたことでした。また言葉遣いや靴を並べる、整理整頓など、自分自身の行動を見直すきっかけにもなりました。これからも子ども達と一緒に成長していきたいです!来年も参加できるよう頑張ります。ありがとうございました。

道花祥太郎

私は今年初めて学生リーダーとして参加しました。不安の気持ちでいっぱいでしたが、班のみんなやスタッフの方々と協力して無事一週間のキャンプを終えることができとてもよかったです!沢山の人の出会い、いろんな話をしてコミュニケーションをとることの大切さを学ぶことが出来ました。人との出会いって素晴らしい★本当にありがとうございました。来年も参加してみたいです。

道花真衣



# 大人スタッフの感想

ふくしまっ子 チャレンジスクール2015

これまで多くの野外活動に参加してきましたが  
これまで心身一体で4年連続のめり込もう事業は初です。

個人意見ですが、2年めに続き3年めの今年  
規模が圧倒的に大きくなり、

広島という遠い地には僕は何も打ち合わせにも参加できていないことは  
わがことながらも「何か違うなあ」という係のような不満を  
いだいていました。

運営的にも... 空気感的にも...  
以前の様なまじりをした気がしていました。

ところが4年めの今年  
また新しい絆が新しい輪となり一体感が感じられた。

明窓に言えは:

子供たちとリーダー・スタッフがそれぞれ名前を呼びあっていたのが、  
リーダーと子供たちの間に縦関係ばかりではなく良い横ツなができていたのが、  
ミーティング内で運営者とリーダーの息がもともと合っていたのが、  
りり際に限らず多くの場面で涙が見られたのが、

名乗れがまだ出てきませんが...

この流れを作り上げる為にとても多くの努力、計画、打ち合わせが  
繰り返された事を後々知った。

これは岩じい、澤本夫妻、クキ家を初め  
運営側が大きく責任を背負いながらも実現してくれた形だと  
感じています。

キャンプの当日 早起きして帰る僕らとは重みの大違いで...  
改めてみな運営側の皆様に心の奥底からありがとうございますが伝えたい。

石川 & 福島

もう「来るな」と言われても無理だな。  
切っても切れない絆です。

突然きて

みんなど笑って泣いて

声を枯らしながら歌う事しかできへんけど...

何度も、何度もこの地に足を踏み入れ

「ひとりじゃないからな!

大丈夫だからな!

大丈夫で!

今は耐える時期がもれへんけど

今はトンネルの先が見えてへん時期がもれへんけど

みーんなで見てるから!

みーんなに見てるから!

大丈夫で!

ひとりじゃないから!

そう叫び続けたる

この家族の一員でいたい。

とき

キャンプinキャンプ等の新しいアクティビティを託す  
チャレンジと共に始まった「ふくしまっ子チャレンジスクール2015」。  
参加してみんなの心が一体となってこれらのチャレンジをクリア  
しなからEさんの笑顔と感動、そしてみんなの成長の史感を  
経験できたあという間の、でも中身の濃い一  
週間でした。  
ふくしまっ子チャレンジスクールはまさに神さまからの  
尊い贈り物ですね!  
クキ 範子(クキママ)

家族のようなあたたかな雰囲気。ふくしまっ子チャレンジスクールは  
よそ者が入り込めます。僕は2年目からの参加になりましたが  
一年に一度、遠方からスタッフや、ふくしまっ子がスクール集  
まり、身い時間と共有し、心満たれるのは、帰省のよだ  
と感します。新しい家族と繋がるがスクールがみんな  
とて帰る、またいたいと思える場所。これがとても有り難い  
と願っています。  
たけい(徳井駿司)

8月8日の朝、郡山駅前に集まった子供たち。  
去年参加した子供たちの成長に驚き、初参加の子供たちの  
期待にあふれる顔を見て、あ〜今年も始まるんだな〜と実感ほした。  
能登で待っていたのは懐かしい顔と新しい顔。  
「たけい〜」「お帰り〜」の挨拶で1週間のキャンプがスタート。  
大人スタッフと学生リーダーが子供たちのため全力を尽くしました。  
特に学生リーダーのみんなは、子供たちと一緒に活動し、  
睡眠時間を削って翌日の活動の準備など、若くて元気があると  
いっても大変だねと思ひ、感謝の心で一杯です。  
キャンプの主役は子供たちです。陸の主役は学生のみならず、  
あんなにです。  
帰りのバスの中、泣きながら大声でリーダーの名前を叫び、こい眠って  
しまった子供たち。どんな夢を見かけたか? 「能登も金沢も全2夢の中  
着いた郡山は雨でいいな。子供たちは太陽の笑顔で家路へ戻ると  
来年も会おう」「いつだって〜い!」  
スタッフ・リーダーのみんなも素敵な思い出ありかと〜! by 櫛井保夫



## 参加者アンケート集計結果 (計24名)

### 1. 参加の理由は何ですか？ (複数回答可)

自然に親しませたい	23
放射能からの退避	16
夏の思い出作り	15
行事に魅力を感じた	13
去年楽しかったから	12
友達を作るため	7
石川県に行ってみたい	7
キャッチコピーが気に入った	1
その他	0

### ⑤ 良かった行事 (複数回答可)

※一番良かったものも含める

海水浴	19
キャンプ in キャンプ	19
DESTINO での夕食	18
カヌー体験	16
コンサート	14
キャンプファイヤー	14
魚釣り	13
水鉄砲作り	13
金沢東山散策	11
動物園散策	10
英会話教室	10
その他	1

その他/リーダーと遊んだこと

### ●次回やってほしい、 やらせたい行事

水族館	3
流しそうめん	2
コンサート	2
アスレチック系	1
ホテルに泊まりたい	1
海水浴	1
キャンプ in キャンプ	1
花火	1
貝拾い	1
岩井さんの昔話タイムなど (人の話を集中して聞く時間)	1
水鉄砲	1
塩作り	1
ザリガニつり	1
きもだめし	1
金沢城や兼六園	1
新幹線に乗りたい	1

### 2. 事業内容について

#### ① 開催時期 (8/8~8/14) について

ちょうど良い	22
早い時期が良い	2
遅い時期が良い	0

ちょうど良い/学童さんがお盆休みなこと、  
また親も仕事で休みが取れないので大変助かる。

#### ② 開催期間 (6泊7日) について

ちょうど良い	19
もっと長いほうが良い	4
もっと短いほうが良い	1

### 3. 生活面について

#### ① 食事について (子どもの意見)

とってもおいしかった	18
おいしかった	4
普通だった	0
おいしくなかった	0
無回答	2

#### ③ 来年開催された場合、参加したいか

ぜひ参加したい	18
できれば参加したい	6
参加したくない	0

#### ② リーダーの指導について (子どもの意見)

とても良かった	20
良かった	2
普通だった	0
悪かった	0
無回答	2

#### ④ プログラムについて

とても良い	24
良い	0
普通	0
悪い	0



## 参加者の内訳

今回の参加者の学年内訳は小学校2年生3名、3年生6名、4年生7名、5年生4名、6年生6名、中学校1年生3名、2年生2名でした。小学校4年生以下が16名と過半数を占めました。

参加回数は4回連続参加者が5名、3回が2名、2回が8名、初参加が16名でした。6年生以上になると部活や習い事の練習・大会がキャンプ期間中にあるために、参加を断念する子が増える傾向があつて、「本人は“参加したい”と言っているのですが諦めます。」という親御さんが数名いらっしゃいました。

初参加者16名の参加動機は、昨年参加者からの勧誘が最も多く8名、5月GW実施の合宿に参加いただいたのがきっかけの2名、そのお友達1名、昨年参加の兄弟2名、保養相談会で2名、ネットからが1名でした。

## アンケート結果の考察

参加22家族中、18家族より回答をいただきました。

### 1. 参加の理由は何ですか？

「夏の思い出作り」が昨年の20ポイントから15ポイントに下がり、「自然に親しませたい」が23ポイントで一番に、「放射能からの退避」が16ポイントで2番目に上がりました。福島では依然、安心して野外活動が出来ない現状にあることが浮き彫りになりました。

### 2. 事業内容について

①開催時期については9割の方が「ちょうど良い」②開催期間についても8割の方が「ちょうど良い」と答えてくださいました。

③来年も参加したいか?については75%の方が「ぜひ参加したい」と答えてくださいました。

④プログラムについては全員が「とてもいい」と答えてくださいました。

⑤良かった行事は何ですか?では、やはり「海水浴」がトップの19ポイントでしたが、同じポイント数で「キャンプinキャンプ」が多かったのは驚きでした。宿泊施設を出ての野外炊飯やテント生活は魅力的だったようです。以下ディステイーノでの夕食、カヌー体験、キャンプファイヤー、コンサート、魚釣り、水鉄砲作りと続きます。

次回やって欲しい行事は?については水族館、流しそうめん、コンサートなど上がりました。ホテルに泊りたい、新幹線に乗りたいなど無理な願いもありました。(笑)

### 3. 生活面について

①食事については「とてもおいしかった」と「おいしかった」が9割を超えての回答でした。

②リーダーの指導については「とても良かった」が8割以上。「良かった」の2割を入れると十分なケアを学生リーダーがしてくれたことが分かります。

以上アンケート結果は昨年同様に高評価をいただいたようですが、それに甘んずることなくより良いチャレンジサマースクールのあり方を求めて改善・改良・進化して来年を迎えたいと存じます。アンケートにご協力ありがとうございました。

## ふりかえりノート Y W K T

### YWKTとは

スクール中に子ども達に書いてもらう日記です。Y…やったこと、W…わかったこと、K…感謝したいこと、Tは明日トライしたいことを思い思いの文章で書きます。

これは子ども達が、その日1日にあったことをゆっくり振り返る時間を作りたい、そしてスタッフもそれを通して子ども達の心の変化に気付きたい、という思いで始めました。

スクール中、夜に友達と楽しそうにYWKTを書き、お別れの前にはそれを読みながらスクールで過ごした日を振り返る子ども達の様子が見られました。また、私たちスタッフはYWKTを通して子ども達が楽しんだこと、頑張ったことを知ることが出来ました。



## スタッフおよび協力者

(敬称略)

### 社会人スタッフ 27名

岩井繁樹、クノキ家 (ジョン、メグ、シーファス、エルジェイ)、澤本悟博、下村英司、瀬戸政浩  
浜 敬一、伊瀬朋之、伊藤はる子、徳井聡司、森 和浩、小辻真帆、猪狩英明、坂井正夫、清水十輝  
真家大樹、深代真一、加藤有理沙、白浜加奈、大久保穰  
NPO 法人 poco 連人 (櫻井保夫、新田洋子、増田淳子、片野千恵子、斉藤英二)

### 参加保護者 5名

橋本啓輔、鈴木真由美、中瓶子未由紀、鈴木悦子、渡部裕美子

### 学生スタッフ 19名

鈴木隆之、田村朋久、田口 慧、道花祥太郎、クノキ家 (ジョセフ、サイモン、ビンセント、ジョイ)  
齋藤祐輝、澤本享宏、細川詩萌里、戸田怜里、森井しづか、荒井桃子、石黒茉莉子、泉 侑里  
米田千奈都、田口こころ、道花真衣

### お手伝いいただいた方々 7名

- ◎看護 師：島田定子、佃恵美子
- ◎救急指導員：吉本 哲
- ◎イベント協力：木谷あけみ、村上博司
- ◎エコー検査 よしだ小児科クリニック：吉田 均 院長、井家祥子



### 炊事でお手伝いいただいた方々 17名

中村ちか、道花敬子、石黒由加里、梅沢 清  
八田育子、中川久美子、瀬戸カオル、猪飼紀子  
範子クノキ、ファーラクノキ、高森玲子、村井陽子  
高田麻里子、馬場映子、北村純子、濱野明子  
澤本多日子



### 募金箱設置ご協力企業・団体

(株)牛乳村夢番地、居酒屋ちゃっぷりん、NPO 法人美川あんずの家、(株)中田エンジン  
(株)丸善Mr.ファニー木津SS、(株)澤本商事  
西日本旅客鉄道労働組合 西日本JRバス地方本部 金沢支部・金沢分会



## 協賛金・食材現物提供ご協力者

(敬称略)

### 企業・団体様

- ◎西日本旅客鉄道労働組合 JR 西労組西バス地本金沢支部・金沢分会
- ◎西日本旅客鉄道労働組合 西日本 JR バス地方本部 ◎瀬戸機工サービス ◎カオル正體
- ◎(株)桶村設計 ◎寿し寅 ◎(株)サナ ◎(株)ネットアプリ西田誠 ◎北陸医師の会武藤一彦
- ◎(株)ヘリオス ◎金沢四十万郵便局一同 ◎中国建材工業(株) ◎(株)マツバラ松原靖之 ◎豊国石油(株)
- ◎(株)やね屋 ◎(株)石井工業 ◎(有)オーエムサービス ◎NPO 法人こらぼる ◎名東化工機(株)
- ◎けんろく保険サービス(株) ◎楽農心友会 ◎昭栄産業(株) ◎(株)CEM ◎SAWA 会
- ◎(株)長覚硝子建材店 ◎よしだ小児科クリニック吉田均 ◎富士精機(株) ◎(有)相馬商会
- ◎和びさび ◎安地建築 ◎(株)ヤマモト工務店 ◎かべ屋 ◎(株)黒川設備 ◎アズマ建築
- ◎(株)ユティック ◎NPO 法人ワンネススクール ◎(株)澤本商事 ◎村田屋旅館
- ◎MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ

### カウントダウンボードに 協力頂いた企業様



こころ暖まるご寄付、ご協力ほんとうにありがとうございました。

(敬称略)

## 個人様

- ◎イケモトセツコ ◎村上佳子 ◎宮下雅子 ◎中川久美子 ◎川上万里子 ◎河岸 博 ◎関 渉子  
◎西尾修一 ◎今井美智 ◎釜田典子 ◎松下はる枝 ◎北野ゆみ子 ◎中内晃子 ◎上村好子  
◎山本華喜子 ◎細川信喜 ◎大部恵美子 ◎鈴木隆之 ◎下村英司 ◎新村知子 ◎小野薫三  
◎猪飼純市 ◎一丸清美 ◎菱沼曙美 ◎赤井朱美 ◎本 敏子 ◎谷本淑子 ◎尾柏由利江  
◎武野達雄 ◎北 和久 ◎西野和也 ◎村中紀子 ◎富田敦子 ◎小賀 武 ◎小花康幸 ◎徳井聡司  
◎坂井正夫 ◎大蔵紀子 ◎永井敏昌 ◎山田憲昭 ◎道花敬子 ◎山村正信 ◎帆苅宏典 ◎高梨幸司  
◎清水十輝 ◎山上美奈子 ◎金田まり江 ◎竹内大策 ◎飯島泰輔・裕花 ◎津田省吾 ◎岡本昌弥  
◎陣内智子 ◎山崎千亜紀 ◎木谷あけみ ◎山本静子 ◎平岡純一郎 ◎北野信子 ◎井波裕子  
◎桑村佐和子 ◎中田他慶子 ◎山本 悟 ◎中川和宏・りつ子 ◎今村 龍 ◎八田育子 ◎森 和浩  
◎伊瀬朋之 ◎島野健太郎 ◎村田明子 ◎室井幹子 ◎高柳栄利子 ◎越村ちか ◎三宮敦代  
◎村井陽子 ◎奈良 勇 ◎中村ちか ◎梅澤 清 ◎本橋誠一 ◎坂本龍亮 ◎棚田啓子 ◎高森玲子  
◎猪狩英明 ◎北市由紀子 ◎田村幸子 ◎吉谷道江 ◎真家大樹 ◎氷見純子 ◎奥村久美子  
◎岩井繁樹 ◎永藁祐一 ◎浦上祐幸 ◎澤本三十四 ◎澤本悟博 ◎遠藤洋子 ◎小林喜代美

## 食材提供・現物ご寄附様

- ◎エコファーム奥野 ◎株金沢オーガニッククラブ ◎あさひ屋ベーカリー ◎北陸製菓(株) ◎平野敏子  
◎トモファームあゆみ野菜 ◎ベーカリーホームSMILE ◎赤井由美子 ◎小山 健 ◎浅井 郁  
◎脇田修治・俊子 ◎小花康幸 (RICE・HAIR・DESIGN) ◎関 敦子 ◎棚田恵子 ◎田谷武博  
◎食事・喫茶ニワトコ 中西有希子 ◎おおとも治療院 ◎らくや 川口和彰・美紀 ◎山田雄紀  
◎開発文七・富代三箇吉来 ◎あうん堂 本多博行・恵子 ◎有アラガキ不動産 新垣るみ ◎今井美智  
◎collabon (コラボン) オーハタチエ ◎広瀬敦士・朝子 ◎ディスティーノ金沢  
◎高木靴商店 高木竜・真梨子 ◎株A3羽喰亜紀子 ◎奥村弘一・久子・久美子  
◎農事組合法人三共グリーン ◎ラコルト能登島 ◎のとじまファーム ◎NPO 法人 poco 連人



こころ暖まるご寄付、ご協力ほんとうにありがとうございました。

(敬称略)

食材提供して頂き  
カウンタダウンドボードに  
協力頂いた皆様



あさひ屋ベーカリー



ベーカリーホームSMILE



高木糰商店



エコファーム奥野



茶論 花色木綿



ディスティノー金沢



トモファームあゆみ野菜



奥村家ご家族



RICE・HAIR・DESIGN



あうん堂



農事組合法人三共グリーン



ご提供いただいた食材

十輝チャリティーライブ  
チケットを購入いただいた  
企業・団体様



絹川商事株式会社

こころ暖まるご寄付、ご協力ほんとうにありがとうございました。

中川久美子さんはキッチンスタッフの一員として2012年の1回目から毎年参加いただいている元気ママです。

2年前から地方紙の読者欄に投稿され、今では百発百中の掲載率を誇る凄腕を発揮されています。保養キャンプの活動報告やスタッフ会議の様子などを紹介いただいています。これからも広報部長としてますますのご活躍を期待しています。

27.6.6 北陸中日新聞  
**放射能の恐怖  
 講演で再認識**  
 中川久美子 75  
 金沢市

今年四年目を迎える「ふくしまっ子チャレンジスクールi-ro石川」をよりよい保養キャンプとするために、先日三泊四日で学生リーダー、大人スタッフの合宿研修がNPO法人ワンスクール鳥越校舎であった。常時三十人以上が参加（広島県から二人参加）。

一日目に吉田均先生（吉田小児科クリニック院長）の「今なぜ、福島の子どもたちに保養事業が必要なのか？」「放射能がおよぼす子どもたちへの影響とは」の講演を聴き、あらためて放射能の恐ろしさを再認識した。福島から数家族も参加したが、放射能を簡単に口にするにはできない、黙っている、という。これが福島の現状と

◀H27.6.6 北陸中日新聞  
 「吉田先生講演会について」



今年も八月九〜十五日までイベントをすることに決定、昨年同様三十人を受け入れる。プログラムの検討会も兼ね充実した合宿研修だった。

これからも体調管理をしつかりしながら、ふくしまっ子と笑顔の一週間を過ごしたいと、今から胸を躍らせている。

◀H27.7.3 北陸中日新聞  
 「街頭募金について」

27.7.3 北陸中日新聞

**街頭募金で  
 温かさ感じ**  
 中川久美子 75歳  
 （金沢市・主婦）

「ふくしまっ子チャレンジサマースクール2015 in石川」の一環として先日、香林坊アトリオ前で街頭募金を行いました。

この事業に携わって4年目。募金箱には小銭のほか千円、5千円、1万円とお札もあり、原発事故から4年3カ月経過し、だんだん風化されていく中で、金

沢にも被災地に寄り添いたいとの思いが強くなり、根付いていると感じた街頭募金でした。足を止めて聞き入ってくださる方、震災当時は何もできなかったからと、わざわざ引き返して入れてくださる方など、何とも温かく頭が下がる思いでした。

初めて街頭募金に参加したリーダーの方たちからは、道行く人々の反応がじかに感じられ、得難い経験ができたと思いを輝かせていたのが印象的でした。福島を忘れないためにも、息長く支援の輪をつなげていきたいと思っています。



水鉄砲で水を掛け合う福島の子どもたち―金沢市キゴ山ふれあいの里で



## 福島の子 水遊び満喫

金沢 キゴ山で保養キャンプ

東京電力福島第一原発で開かれている。十三日、放射能汚染の影響が残る福島県満喫。びしょぬれの子どもが石川県内で遊ぶ保養キャンプ「ふくしまっ子チャレンジ」が十

四日まで、金沢市キゴ山ふれあいの里研修館開催。今年

小中学生二千一人が八日から能登町に滞在して海水浴やカヌー、テント泊を楽しみ、十二日に金沢に移った。水掛け合戦ではしゃぎ回った子どもたちは「楽しすぎて、時間があつという間に過ぎちゃつ」と満足そう。福島県いわき市のパート職員鈴木悦子さん(三三)は「除染は終わらず、学校でもやぶなどに近づかないように言われている。子どもが制限なく、のびのび遊んでいるのがうれしい」と語った。(福岡範行)

H27.8.14 北陸中日新聞▶



保養キャンプのイベントでコンサートに立つ清水十輝さん等―昨年8月13日、金沢市で

## 心に響く歌声 福島の子支援

福島県の子どもたちが放射能の影響を気にせず遊ぶ保養キャンプの支援で、県内のキャンプで活動してきたミュージシャン清水十輝さん(三三)は十二日午後五時から、野々市市三納の常讃寺でチャリティーライブを開く。清水さんは広島県を中心に音楽活動をする傍ら、三年前から石川県内で続くキャンプ「ふくしまっ子チャレンジスクール」の運営を手伝ってきた。キャンプは今年も八

### 野々市で12日ライブ

月八―十四日に、福島県の子ども三十人を招いて開催。ライブの収益を活動費に充てる。ライブでは清水さんがギターの弾き語り九曲ほどを披露する。キャンプの実行委員会の岩井繁樹代表(三三)は「熱く語りかける十輝君の歌は、きくと心に響く」とPRしている。参加費は中学生以上二千円、小学生以下無料。問い合わせは、実行委員会▶電076(227)0468▶へ。(福岡範行)

H27.7.10 北陸中日新聞▶



7月12日(日)17:00～ 野々市市常讃寺にて

# 1年間の活動・準備のふりかえり (2014.8.23~2015.8.7)

平成26年(2014年)

- 8月23日(土) 反省会と今後の活動打合せ 【6名参加】
- 9月 5日(金) ふくしまっ子女子会 【8名参加】
- 20日(土) 反省会&交流会 【26名参加】
- 22日(月) poco連人さん+石川3団体合同決算・報告事務打合せ会 【16名参加】
- 10月 5日(日) うけいれ全国主催『こどもファシリテーター養成講座』 【2名参加】
- 25日(土) poco連人さん+参加親子+スタッフ交流会 【18名参加】 郡山市ラストワルツ
- 26日(日) 郡山報告会 poco連人さん5名 スタッフ6名 【37名参加】  
10家族(子供14名保護者11名)参加 郡山市男女参画センター
- 12月 1日(月)~30日(火) 北陸銀行浅野川支店にて写真展開催
- 13日(土) ハートフルクリスマスパーティー 【30名参加】

平成27年(2015年)

- 1月10日(土) スタッフミーティング 今年の活動計画 【18名参加】
- 2月28日(土) 卒業おめでとうパーティー&ワークショップ 【20名参加】
- 4月10日(金) 石川県ボランティアリーダー育成事業ガイダンスにて  
学生ボランティアスタッフ募集 石川県しいのき迎賓館
- 25日(土) 26年度実行委員会会計監査 税理士:村上氏
- 5月 2日(土)~5日(火) 3泊4日  
学生リーダー&大人スタッフ合宿研修+実行委員会総会+親子保養  
講師 吉田均よしだ小児科クリニック院長 【30名参加】  
(学生10名、poco連人3名、大人10名、福島親子4名)  
実技(釜戸炊き、山菜取りハイキング、ゲーム指導) BBQ  
今年のプログラム検討会 ワンネススクール鳥越校舎
- 16日(土)・17日(日) スタッフ有志広島ツアー 【7名参加】  
十輝ワンマンライブ参加 広島平和公園見学
- 5月31日(日) 能登少年自然の家下見 【11名参加】 スタッフミーティング 【18名参加】
- 6月 1日(月) 申込受付スタート 募集チラシ、寄付依頼文発送
- 6日(土)・7日(日) うけいれ全国主催 保養相談会参加 いわき市、二本松市 【1名参加】
- 14日(日) キッチンスタッフミーティング 【13名参加】
- 19日(金) スタッフミーティング 【5名参加】
- 21日(日) スタッフミーティング 【6名参加】
- 27日(土) 森のASOBI塾 学生リーダー参加 石川県立青年の家 【10名参加】
- 28日(日) 街頭募金 43,640円 香林坊大和前 【16名参加】
- 7月 5日(日) 能登少年自然の家事前打ち合わせ+キャンプインキャンプ下見 【4名参加】
- 11日(土) 安全管理講習会+懇親会 金沢青少年研修センター 【20名参加】
- 12日(日) 十輝チャリティーライブ 145枚チケット販売 野々市常讃寺 【120名参加】
- 19日(日) スタッフミーティング 【5名参加】
- 20日(月) スタッフ最終ミーティング キゴ山ふれあいの里研修館 【40名参加】  
講師 吉田均よしだ小児科クリニック院長  
スタッフ参加日程確認 スケジュール確認 キッチンスタッフ打合せ
- 25日(土) poco連人さんとの懇談会 郡山駅前ラストワルツ
- 26日(日) 参加者対象事前説明会 郡山市男女共同参画センター  
【35名参加】 【石川より4名参加】
- 8月 7日(金) キッチンスタッフミーティング&食材整理 【8名参加】

準備期間については①何のためにこの事業をしているか?をスタッフ全員が認識共有できるように配慮し、特に放射能の影響についての勉強会として吉田先生の講演を2回開催し理解を深めた。②スタッフ間のコミュニケーションを重視した③学生リーダーに対しコアスタッフが決めた重要講座・ミーティングを2回以上参加することを求めた。

など昨年の反省に基づいた活動を実施した。



## 編 集 後 記

今年は福島から31名の子ども参加、5名の保護者の参加がありました。

1週間ずっと一緒に過ごす日々のなかでできた色々なお話や福島で待っている保護者様からいただくメールからもおもしろいものがあふれていました。

福島で暮らしていくこと。子を持つ親としてのねがい。海水浴場としてオープンしていても汚染水が不安で海には連れて行けない環境。津波で身近な方々を亡くした海に、連れて行く気持ちになれない心境。葉っぱに触ってはいけない、水たまりに入ってはいけない、草むらで寝転んではいけない…そんな教育を学校で受けている子ども達。

制限のない石川で存分に外で遊んでいる姿をFBで毎日見て涙が出ました…そんなメールもいただきました。少しでも福島の地を離れ、身体への負担が減りますように。そんな保護者の方々の願いをダイレクトに感じる1週間でした。

そして、手元に届いたアンケートの中にもぎゅっと詰まったたくさんのおもしろい。参加したスタッフ達が保護者の方々の生の声を聞くことで、こうして報告書を手取る事で、関わっていただいた皆様の考える機会になっている事を願ってやみません。

はじける笑顔、来年も絶対来るー!そんな子ども達の言葉、別れがつらくて号泣する涙もみんなみんなとおもしろい。そんな眩しくていいおもしろい日々をご家族、お友達、関わった方々が頭の中に思い描き、共に語り合える報告書になっていれば幸いです。

福島から500キロ離れた石川での出会いは福島第一原発事故がきっかけで、放射能の影響の軽減を願う保護者の方々のおもしろい原点です。でも、こうして過ごす1週間が楽しい!!といういっぱい笑顔が、素敵な新しい出会いと広がるつながりとより一層濃くなる関係を作り出し、そして大きな力になるのでは?そんな可能性を感じています。中学生に成長した子ども達が口にしてくれる「高校生・大学生になったらリーダーとして参加したい。」そんな声も年を追うごとに現実的になってきました。たくさんの方々と関わりが子ども達の大きな可能性に繋がっていく姿を皆様と共にゆっくりと見守っていく事ができると嬉しいです。

多くの方々のご協力・ご支援・応援、本当にありがとうございました。深く深く感謝申し上げます。また来年もお会いできることを楽しみにしています。

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会 事務局 澤本 多日子



この事業は金沢市復興支援子ども交流事業の補助金助成にて実施されました。

2015

ふくしまっ子チャレンジスクール実行委員会